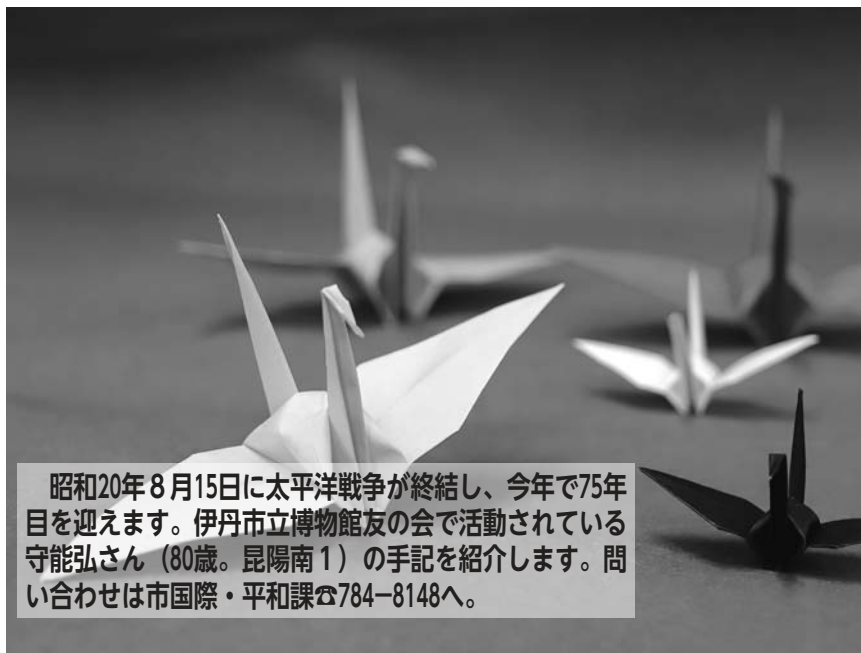


争いのない世界の実現へ 未来へ平和をつなげよう



昭和20年8月15日に太平洋戦争が終結し、今年で75年目を迎えます。伊丹市立博物館友の会で活動されている守能弘さん(80歳。昆陽南1)の手記を紹介します。問い合わせは市国際・平和課☎784-8148へ。



守能弘さん

私は昭和15(1940)年1月、神戸市須磨区板宿で生まれました。
そして父親の仕事の関係で大阪市東淀川区(現淀川区)に引っ越しをした後に、太平洋戦争を経験し、命を5回ほど落とししかける恐ろしい目に遭いました。

防空壕の中に焼夷弾

初めは、防空壕に逃げ込んだ時のことです。
隠れている所に、爆撃機からの焼夷弾が壕の中に落ちてきて焼け死ぬところでした。

家の近くに爆弾落下

第4は、母親に連れられて家に帰った時のことです。
家の近所に500kgの爆弾が二つ落ちていました。一つは道端に、残りの一つは向かいの三軒隣の大屋根を貫いて落ちていました。どちらも不発弾でしたので周りの家も自分の家も助かりました。

自宅に銃弾

最後は、昼食を家族と一緒に食べていた時のことです。
防空警報が鳴り、戦闘機(戦闘機)の機銃掃射がありました。その一発が、屋根の瓦を貫き、天井を抜けて私が座っている所の後ろのふすまに当たり、穴を開けました。

私が思うこと

こんな恐ろしい事は二度と経験したくありませんし、また戦争の悲劇も味わいたくありません。世界が平和であることを願っています。

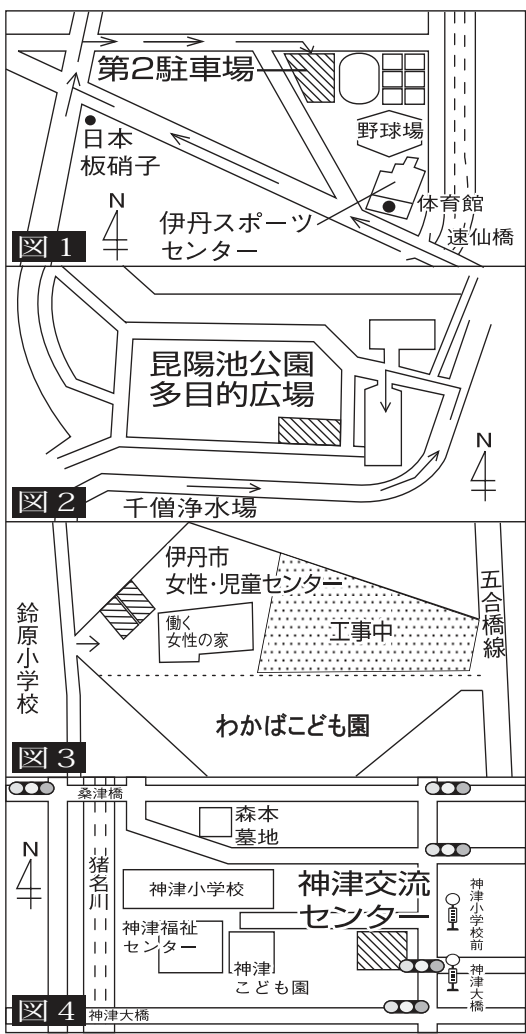
戦争や平和

伊丹から考えてみませんか

市内で平和に関する展示や行事などが行われます。内容は次の通り。
●「戦争と伊丹の人々」常設展示 博物館で。
●防犯面など戦争の恐ろしさを物語る資料を展示。無料。当日直接、会場へ。
●平和を語るおはなし会 8月8日(土)午後3時、図書館「こぼ蔵」で。
●平和の絵本を読み聞かせ。対象は小学生。無料。当日直接、会場へ。
●平和和語展示 8月1、16日、図書館「こぼ蔵」で。
●戦争や平和に関する本を展示。

原爆死没者に黙とうを

75年前の8月6日午前8時15分広島市に、8月9日午前11時2分長崎市に、原爆が投下され、多くの尊い命が失われました。
◆「第11回特別弔慰金」を支給先の大戦において公務などのため国に殉じた軍人、軍属と準軍属の人々に思いを致し、国として改めて弔慰の意を表すため、戦没者の遺族に特別弔慰金(記名国債)を支給します。対象などは次の通り。
【対象】戦没者などの死亡当時の遺族で、公務扶助料や遺族年金などを受け取れない場合に限り、優先順位が最も高い人、1人に支給します。順序は次の通り。
【1】4月1日までに弔慰金の受給権を取得した人【2】戦没者などの子【3】戦没者などと生計を共にしていた【1】父母【2】孫【3】祖父母【4】兄弟姉妹【4】
【1】、【3】以外の三親等内の親族(戦没者などの死亡時まで引き続いて1年以上生計を共にしていた人に限る)。
【支給内容】戦没者1人につき額面25万円、5年償還の記名国債で支給。
●伊丹地域・高年福祉課☎784-8099。



お盆供養物

回収します

8月15日(土)午後4~7時(荒天順延)に▷伊丹スポーツセンター第2駐車場(図1)▷昆陽池公園多目的広場(図2)▷女性・児童センター(図3)▷神津交流センター(図4)——でお盆の供養物を回収します。
無料。当日直接、会場へ。
周辺道路が混雑するため、各図の矢印に従って来場してください。
自動車での来場はできるだけ遠慮ください。
女性・児童センターは、敷地内整備に伴い、五合橋線側からの入場はできません。また、車での来場もできません。
市生活環境課☎781-5371

平和都市宣言

平和は人が生きるための大本です。戦争はかけがえない生命を奪い、幸せをふみにじります。
いま、世界は恐ろしい核兵器をなくし、惨たらしい戦争のない社会をつくろうと、ようやく歩みはじめました。が、ここで心をゆるめてはなりません。戦争は人の心の中にひそんでいるのです。
人類が幸せを分かち合える地球環境をつくり、自由と人権を尊び、差別や貧困をなくすことも、すべて平和の問題です。
私たち市民は、平和な社会を築くことを誓い、ここに平和都市を宣言します。
平成2年11月10日
伊丹市



笑顔で暮らせる社会に 平和都市宣言

市は、平成2年11月10日、「平和都市宣言」を制定し、平和の尊さを訴えています。今年には戦争終結、また被爆から75年の節目の年です。
今一度、平和について考えてみませんか。
●市国際・平和課☎784-148。